

## 今回の調査成果

### 1 2区・3区（緑の園）

- ・冷泉院跡の庭園遺構を発見しました。時代は平安時代前期です。
- ・庭園遺構は、園池の汀に据えられた景石と遣水の一部です。
- ・冷泉院跡でこの様な庭園遺構を発見したのは今回が初例です。
- ・寛永期の蔵跡を確認しました。礎石を据え付けたと見られる痕跡は、東西の柱間は（梁間）5.85m、南北の柱間は（桁行）1.95mを測ります。

### 2 8区・9区（桜の園）

- ・徳川家康が慶長年間に築城した時の二条城西堀の石垣を発見しました。
- ・石垣は2段ほど確認していますが、使用している石は切石を使用せずに花崗岩やチャートなどの自然石です。
- ・築城当初の西堀の位置や石垣を発見したのは今回が初例です。
- ・今回確認した西堀の幅は約18m（9間）で、現在の二条城南面東半部の堀幅と同じです。
- ・寛永年間に二条城は現在の規模に拡張されましたが、石垣の上層では女院御殿造営の整地層を確認しています。

2001年3月29日

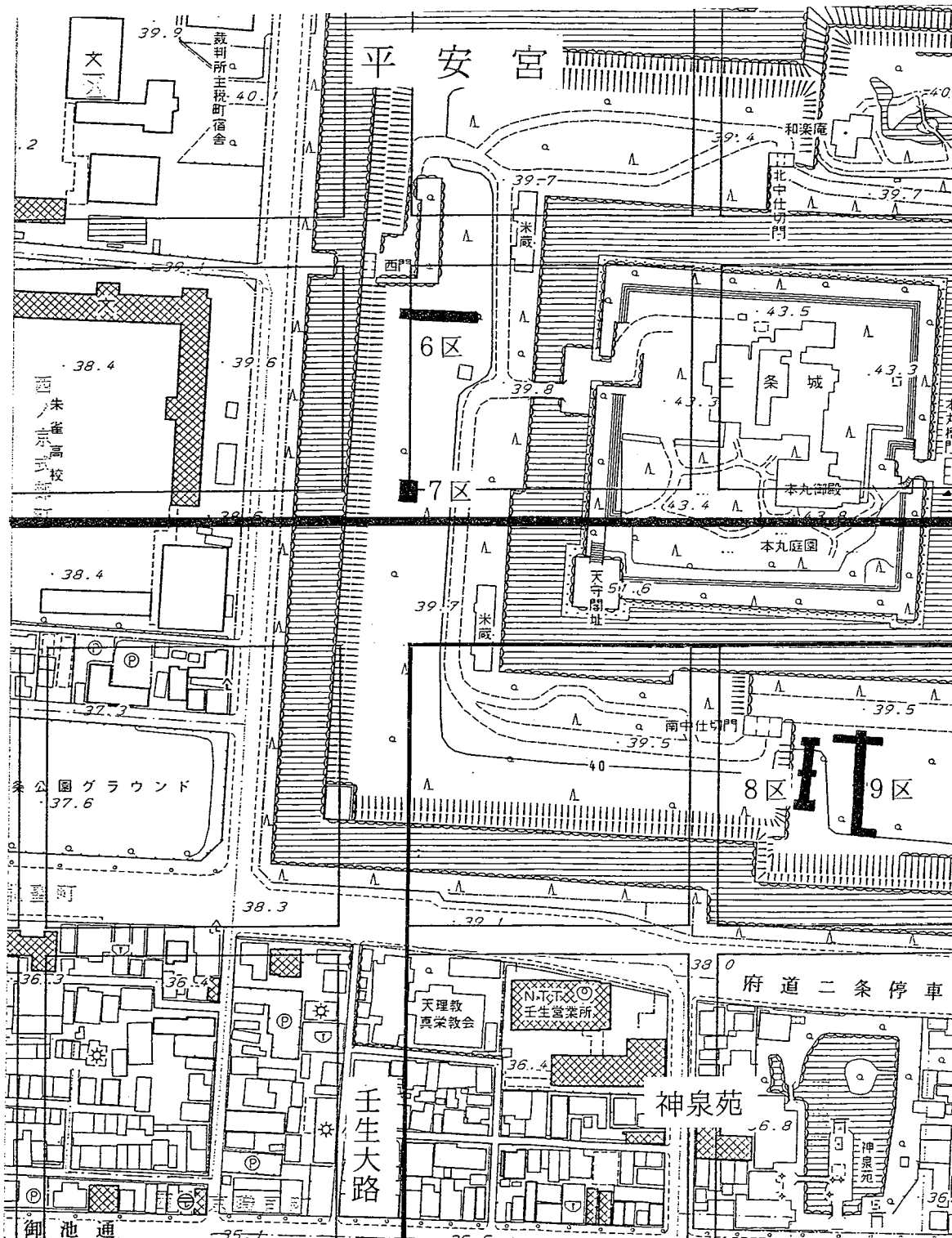
# 史跡旧二条離宮試掘確認調査現地説明会資料

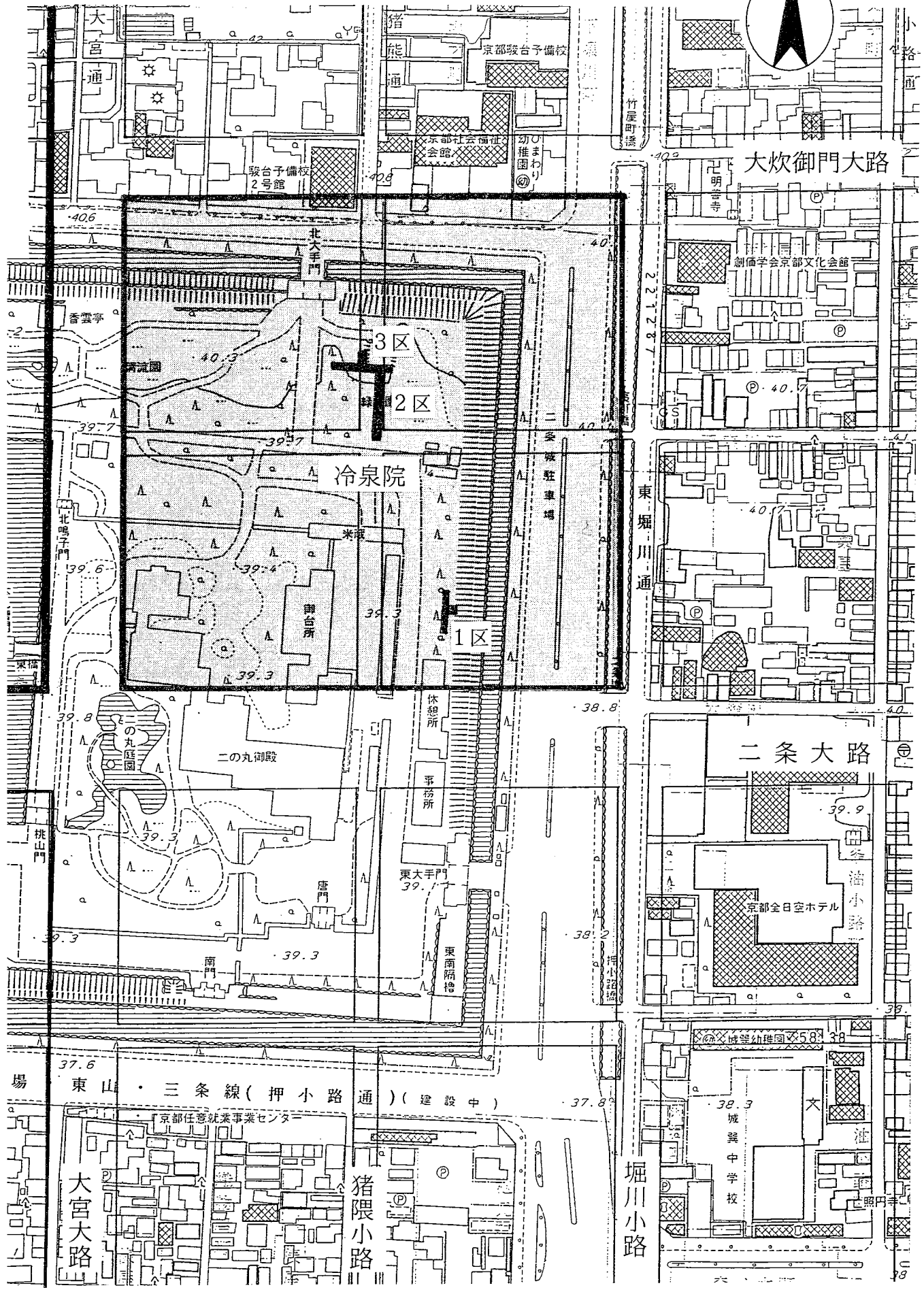
(財)京都市埋蔵文化財研究所

遺跡名 史跡旧二条離宮、冷泉院跡、神泉苑跡

調査期間 2000年11月14日から継続中

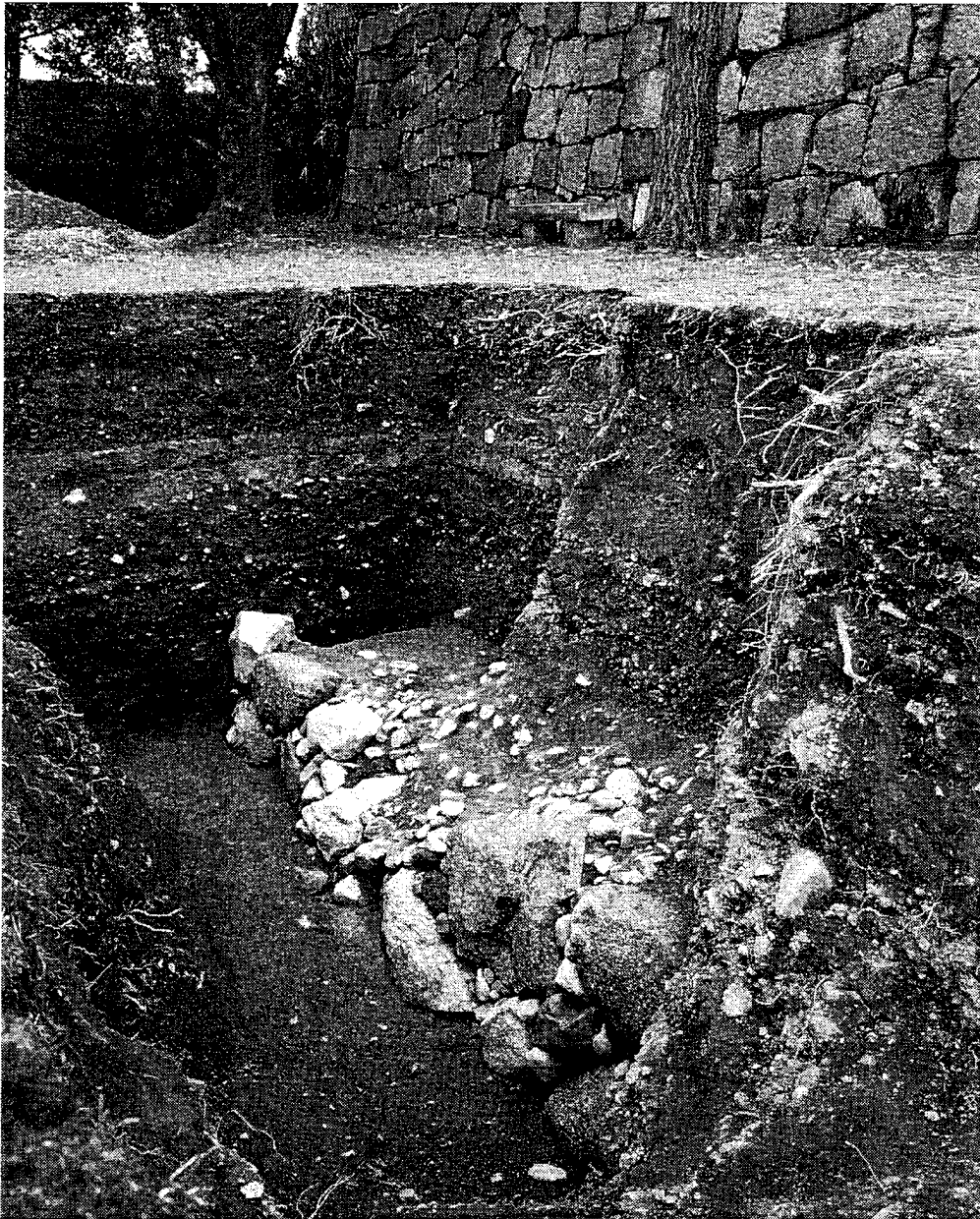
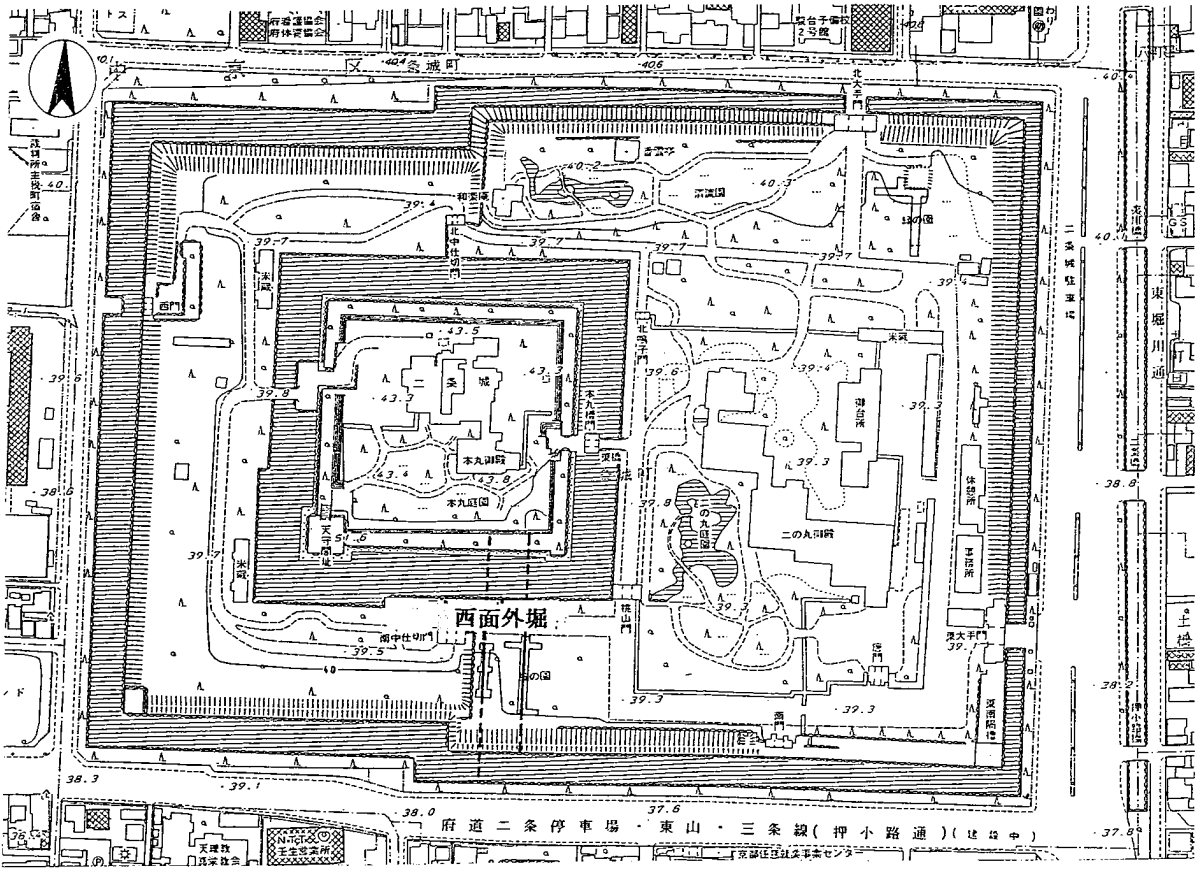
調査面積 771 m<sup>2</sup>



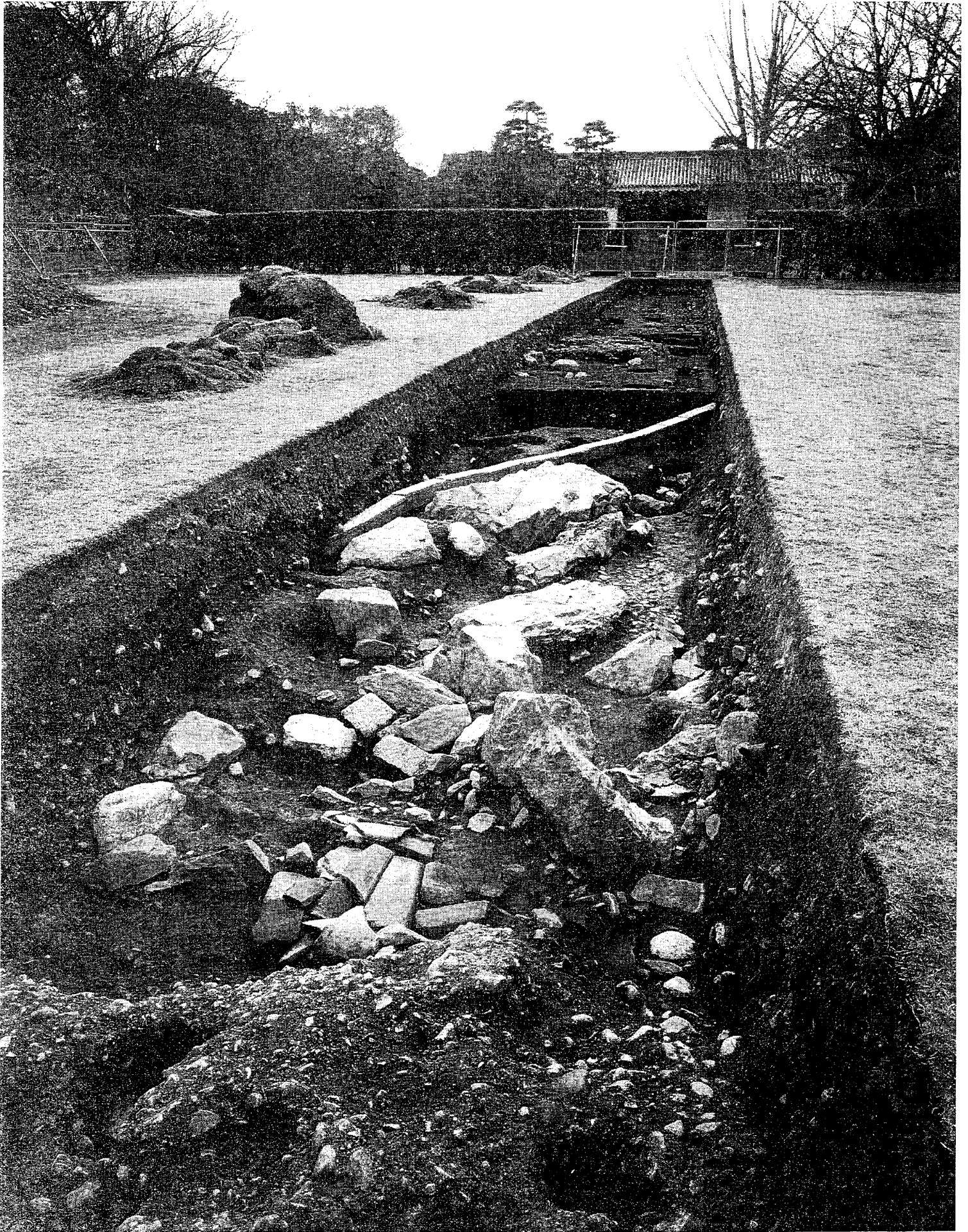


区位置図(1:2500)

慶長造営時の西堀の位置図



8区 慶長造営時の西堀の石垣発見状況(北東から)



3区 冷泉院跡の庭園遺構発見状況